

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 細胞制御学

(氏名) 尾崎 恵一

(職名) 助教授

【研究テーマ】

1. チロシンキナーゼ型受容体(RTK)を介した ERK-MAP キナーゼ系シグナルに対するフィードバック・インヒビター: *Sprouty*に関する研究
2. RTK/Ras/ERK-MAP キナーゼ経路、あるいはPI3 キナーゼ/Akt 経路を標的とした癌分子標的治療法に関する研究
3. ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤を基盤とした新規癌分子標的治療法の開発
4. 低酸素培養がヒト癌細胞株に及ぼす影響に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. K. Ozaki, S. Miyazaki, S. Tanimura, and M. Kohno: Efficient suppression of fibroblast growth factor-2-induced ERK activation by the cooperative interaction among mammalian Sprouty isoforms, *J. Cell Sci.* **118**, 5861-5871 (2005) (IF: 6.91)

B 邦文

(B-c) 著書

1. 尾崎恵一, 河野通明: 第 4 章タンパク質機能 3 情報伝達関連タンパク質, 211-224, 「タンパク質科学イラストレイテッド」(羊土社、竹縄忠臣編) (2005)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

- 1, 尾崎恵一, 岸川二葉, 河野通明: 卵巣癌細胞株の DNA 傷害性抗癌剤に対する感受性はヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用によって大幅に増強される, 第 64 回日本癌学会学術総会, 札幌
- 2, 岸川二葉, 田中将人, 尾崎恵一, 河野通明: ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用によるヒト卵巣癌細胞株のシスプラチン感受性増強作用, 第 28 回日本分子生物学会年会, 福岡
- 3, 高野大樹, 藤原雄介, 尾崎恵一, 河野通明: PI3 キナーゼ/ Akt 経路遮断剤とドキソルビシンとの併用による細胞死誘導増強 セラミドの役割, 第 22 回日本薬学会九州支部大会, 福岡

【研究費取得状況】

1. EGF シグナル遮断薬の感受性を決定する Sprouty-2 転写物の意義; 科学研究費補助金基盤研究 (C)

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	20 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	1 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	3 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	12 編
特許	0 件		